

草加市役所本庁舎

埼玉県草加市

設計・監理／石本建築事務所
施工／戸田・彩光特定建設工事共同企業体



旧日光街道側外観

設計主旨

本計画は、草加駅周辺に分散された庁舎機能を集約し、市民サービスの利便性の向上、業務の効率化、脱炭素社会の実現に向けた環境配慮性能、防災拠点機能の獲得など、現在の庁舎に求められるあらゆる機能の更新と強化を目的としている。

計画地は、日光街道第二の宿駅である草加宿の入口に位置する。草加市は、松尾芭蕉が奥の細道の旅で立ち寄った宿場町の面影を取り戻すべく、宿場まつりなどのイベントのほか、歴史的建造物の保護や景観ガイドラインに則った街並みの形成に取り組んでいる。土地固有の成り立ちを振り返り、経済成長に伴い消えかかった歴史を再生することは、街の魅力を取り戻すきっかけとなる。このような背景から、新庁舎においては、景観や賑わいといった今後の街並み形成の道しるべとなることを目指した施設計画を行っている。旧日光街道に面する1・2階の低層部には、宿場町のような活気と今後の賑わいを生み出すことを目的に、市民活動スペースやテラスを設け、これを街の縁側として連続した軒下空間で覆う構成となっている。関東町屋に

見られる存在感のある屋根と棟入りの構成を施設デザインに取り入れることをひとつのルールとし、単純に屋根を2層に重ねるのではなく、帯状の片流れ屋根を立体的に交錯することで、街並みから逸脱しない程よいスケールダウンを図っている。同時に、通りへの圧迫感を軽減するためにセットバックした上層階との連続性にも配慮している。

基準階は、センターボイド型の平面計画とし、建物の中央の段々状の縦穴空間をエコカスケードとした。トップライトからは各層の待合ラウンジに自然光が降り注ぎ、さらに東端のエレベーターシャフトをガラス張りとする事で、閉鎖的なコアではなく採光装置として活用した。頂部と東西から光が差し込むことで、中廊下であっても明るく快適な窓口空間を実現できている。また、南北に面する執務室に定風量換気装置を設け、天候に左右されず自然換気を行うことができる。導入した外気は、エコカスケードを経由し、頂部の自然換気窓から効率良く排出される。

レジリエンスの強化として、基礎免震構造のほか、非常用発電機や2回線受電、高置水槽、非常用汚水槽などのバックアップ機能を設け

ている。また、1階床レベルの嵩上や防水板の設置、防災センターや電気室の上層階設置など、河川氾濫の対策も行っている。執務室は、FR版の現しによるスケルトン天井とし、床吹出空調や上下配光のLED照明による照度の確保など、地震時の二次災害リスクの排除と省エネ性能の両立に努めている。

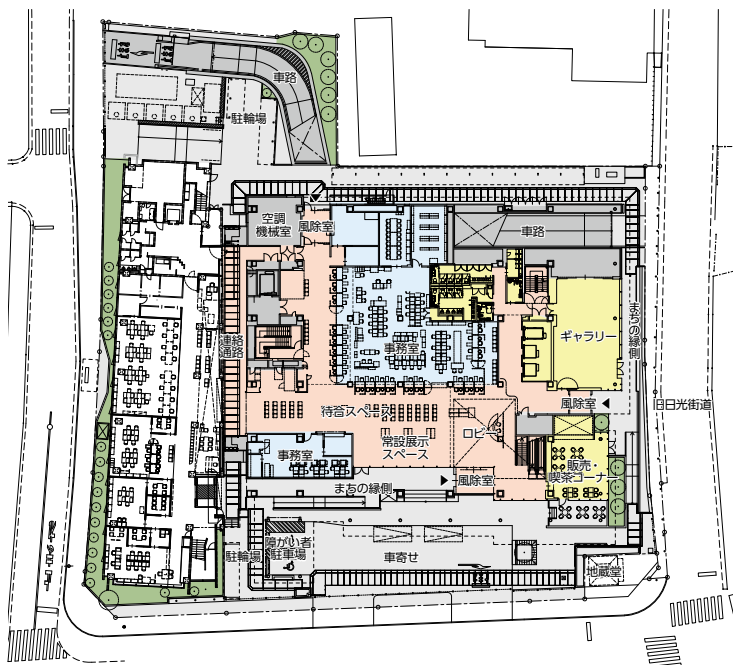
(藤本良寛／石本建築事務所)



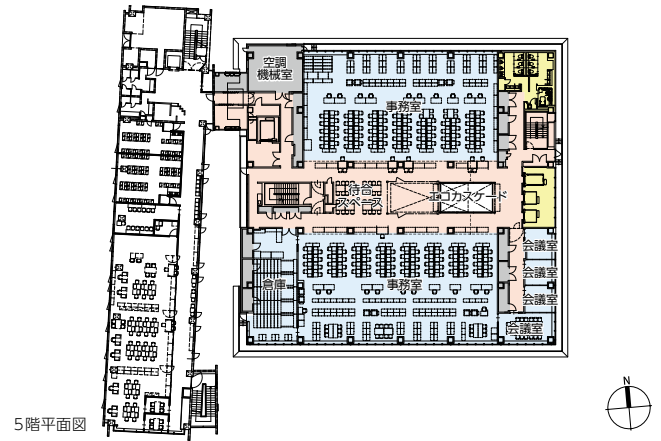
庁舎中央のエコカスケード



2階テラスを望むエントランスホール



配置・1階平面図 縮尺1/1,000



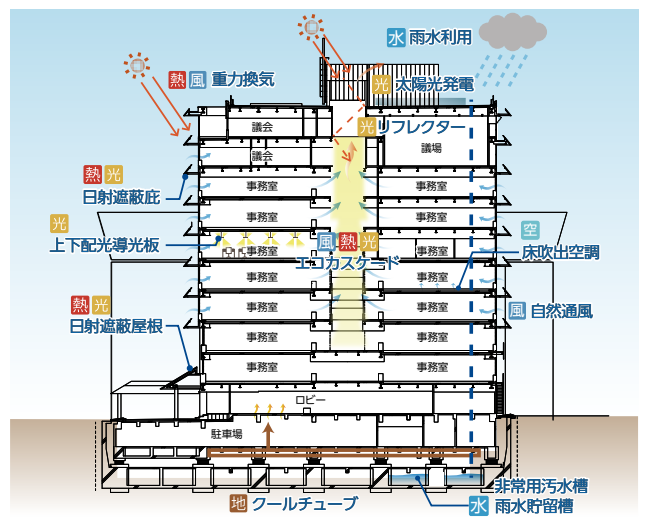
5階平面図



市民に開放される10階の展望テラス



FR版現しの天井と上下配光導光板



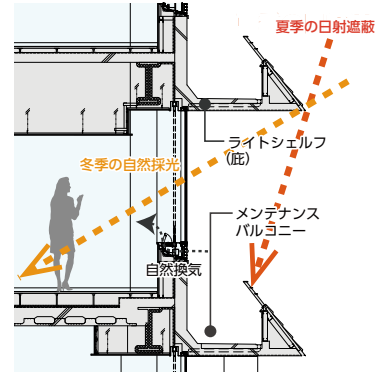
断面図



草加宿入口に位置する地蔵堂と本庁舎



旧日光街道沿い屋根



L型PCによるメンテナンスバルコニー



左/2層使いの議場 右上/自然採光による明るい窓口空間 右下/1階と吹抜でつながる2階待合ロビー



草加市役所本庁舎 データ

所在地 埼玉県草加市高砂1-1-1

主要用途 庁舎

建築主 草加市

設計・監理 石本建築事務所

担当/総括: 天羽 正 建築: 藤本良寛、眞喜志康功、野田和宏(元所員) 構造: 宮久保亮一、加藤信一 設備: 米山浩一、近藤秀彦(元所員)、山崎竜士、浅野幸治、武田和也 監理: 川島正裕(元所員)

施工

建築 戸田・彩光特定建設工事共同企業体

担当/森 憲寿(作業所長)、田中 直(副作業所長)、森崎洋輔(副作業所長)、天笠まや、岩洲佑樹、大倉啓輔、篠原尚宏、松園立樹、青山さくら、佐々木菜月 電気 日本電設・旭日・高橋電気特定建設工事共同企業体 担当/山口陽一郎、市川卓弘、高橋辰夫

機械 大成設備・竹内セントラル特定建設工事共同企業体 担当/中村誠人、伊地知洋平、佐藤亮、高橋悟、宮崎敦也、来海翔太

設計期間 2017年8月~2020年5月

工事期間 2020年6月~2023年3月

【建築概要】

敷地面積 4,800.80㎡
 建築面積 本庁舎: 2,495.54㎡ 既存庁舎: 789.17㎡
 延床面積 本庁舎: 18,206.72㎡ 既存庁舎: 3,848.70㎡
 建ぺい率 68.42% (許容80%)
 容積率 392.81% (許容400%)
 構造規模 S造一部SRC造 地下1階、地上10階
 最高高さ 45.79m
 軒高 45.03m
 階高 4.00m
 天井高さ 2.55m
 主なスパン 6.60m×14.40m
 道路幅員 12.33m
 駐車台数 53台
 地域地区 商業地域

【設備概要】

電気設備 受電方式/6kV2回線受電 変圧器容量/2,250kVA 予備電源/非常用発電機875kVA+太陽光発電20kW
 空調設備 空調方式/外調機+個別空調方式、床吹出空調(事務室)、空調機(議場) 熱源/中央熱源方式(空冷HPチラー)+個別熱源方式(空冷HPパッケージ+ガスHPパッケージ)
 衛生設備 給水/直結増圧ポンプ+高架水槽 給湯/局所給湯方式 排水/汚水・雑排水合流方式
 防災設備 消火/屋内消火栓設備、連結送水管設備、泡消火設備 排煙/自然排煙+機械排煙

昇降機 乗用3基、非常用1基

【主な外部仕上げ】

屋根 アスファルト断熱保護防水
 外壁 スチールパネルリン酸処理、押出成形セメント板
 建具 アルミ製サッシ
 外構 砕石平板

【主な内部仕上げ】

エントランスホール 床/磁器質タイル 壁/塗装 天井/杉ルーバー
 基準階待合スペース 床/ビニル床シート 壁/塗装 天井/鋼製ルーバー
 事務室 床/タイルカーペット 壁/塗装 天井/PC床板現し
 議場 床/タイルカーペット 壁/天然木練付板 天井/岩綿吸音板

撮影/川澄・小林研二写真事務所 中村 隆

協力会社

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 杭 | 工 | 事 | ト | ー | ヨ | ー | ア | サ | ノ |
| 鉄 | 骨 | 階 | 段 | 工 | 事 | 横 | 森 | 製 | 作 |
| ハ | イ | リ | ン | グ | 納 | 入 | セ | ン | ク |
| 製 | 作 | 金 | 物 | 工 | 事 | カ | ミ | ム | ラ |
| P | C | パ | ル | コ | ニ | ー | 工 | 事 | 東 |
| 自 | 動 | ド | ア | ・ | ス | テ | ン | レ | ス |
| ス | チ | ー | ル | 製 | 建 | 工 | 事 | 防 | 火 |
| 耐 | 火 | 被 | 覆 | 工 | 事 | T | O | H | T |
| 塗 | 膜 | 防 | 水 | 工 | 事 | ア | イ | ビ | ー |
| 地 | 震 | 観 | 測 | 装 | 置 | 納 | 入 | ・ | 工 |
| 内 | 装 | 仕 | 上 | 工 | 事 | 東 | 用 | 地 | 震 |
| 家 | 具 | ・ | 什 | 器 | 備 | 品 | オ | カ | ム |
| 議 | 場 | 家 | 具 | 他 | 天 | 童 | 木 | 工 | |
| 植 | 栽 | 工 | 事 | 大 | 場 | 造 | 園 | | |



藤本 良寛……ふじもと よしひろ

1976年兵庫県生まれ。2000年工学院大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了、同年石本建築事務所入社。2019~21年工学院大学非常勤講師。現在、同社設計部門建築グループ部長



眞喜志 康功……まさし やすなり

1983年沖縄県生まれ。2009年芝浦工業大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了、2020年石本建築事務所入社。現在、同社設計部門建築グループ主任